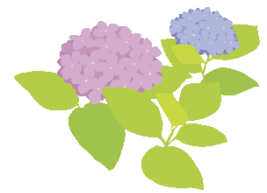


あったかいがいね

シャローム横浜通信 6月15日号



温かい場所

雨後の新緑がひときわ濃くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
6月6日に開催された第27回日本認知症ケア学会大会において、「未来をつくる子供たちの作品コンクール2026」で優秀賞となった、茨城県在住の小学校5年生・巻輝来珠さんの作文をご紹介します。

「おかえり」があふれる街に
「知らない人と話してはいけません」と習った私でした。ある日、塾にむかう途中で、不安そうにバス停をうろろろするおばあさんがいました。「知らない人だから、教わった通りだと話してはいけない？でもなにか引っかけ……。」私には96歳のひいおばあちゃんがあります。認知症で施設にいるひいおばあちゃんは、毎回私の名前をちがう名前で呼びます。笑ったり、急に泣き出したり、私たちが帰る時は不安そうに顔をします。バス停にいるおばあさんの顔とひいおばあちゃんの顔が重なりました。思い切って声をかけると「うちに帰るんだ」と。手ぶらのおばあさんが心配で、お母さんに連絡し、その後 無事に保ごされたこと聞き、とてもほっとしました。

私たち子供は、たくさんの人に見守られて生きています。だから、今度は私が見守る人になりたい。不安になった人に、地域のみんなで「おかえり」って言える、そんな温かい場所になりたいです。

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。2024年には年間で認知症の方約1万8千人が行方不明になり、そのうち171人は2025年末時点でも行方不明届が解除されず、発見されていません。認知症の方は普段の生活で、ちよつとしたことでパニックになり、頭が真っ白になってしまう特徴があります。パニックになると、今までできていたことができなくなり、自宅に戻れず、行方不明になります。そんな時に周囲にいる人たちが、認知症の方が普段から何をしたいのか話し合い、事前の備えをして見守ることで、地域のみんなで「おかえり」と言える温かい場所をつくっていきたいと願っています。

施設長 高原 信夫

第 311 号

令和8年6月15日発行
(毎月1回15日発行)

責任者:施設長 高原信夫

〒241-0802

横浜市旭区上川井町 1988

社会福祉法人アドベンチスト福祉会

シャローム横浜

☎045-922-7333

編集委員 原田・石川・石橋

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



特養4階のお風呂が新しくなりました！

台風がやってくる季節になってきました。釣りが趣味の私は、天気予報とにらめっこする事が多くなっています。

先月ですが、特養4階の中間浴（お体の負担を最小限に抑える、バリアフリー仕様の入浴設備）が新しくなりました。きれいなお風呂にゆったりと入ることができ、皆様からご好評をいただいております。

今月5日にはお誕生日を迎えられた方々を囲んで、お茶会を開かせていただく予定です。

ご利用者が日々楽しんでいただけるよう尽力してまいります。

4階主任 加藤 啓



「あったかいいね」を形に。お茶会で広がる笑顔の輪

毎月1回、日曜日の午後に「お茶会」を開催しています。コーヒーや紅茶を飲みながら、洋菓子や和菓子を一緒に楽しみ、和やかな雰囲気の中でゆっくりお話をする時間です。この取り組みは、「ゆっくり話を聞いてほしい」というご利用者の声から始まりました。これまでの暮らしや思い出、日頃感じていることなどを伺う中で、その方らしさを改めて知ることができ、私たちも人生の先輩から多くを学ばせていただいています。

現在は相談員が中心となって行っていますが、今後はケアマネジャーやワーカー長とも協力しながら、このような時間を少しずつ増やしていきたいと考えています。「心と体にやさしいケア あったかいいね」の理念のもと、これからもご利用者の心に寄り添う時間を大切にしていきます。

相談企画課長 原田 明子



栄養課主催「海鮮丼屋台」を開催しました



6月7日(日)は、栄養課主催の行事として「海鮮丼屋台」を開催しました。

海鮮丼の中身は、マグロ、鯛、サーモン、アナゴ、海老、トビコです。普段のお食事ではなかなかお出しできないメニューということもあり、皆さんとても喜んで召し上がっていました。



7月の行事は、「夏野菜を食べる日」を予定しています。皆さん、ぜひ楽しみにしててくださいね。

栄養課課長 小寺 秀偉

いよいよ、再開。ボランティア募集！

再びのお願いになりました。5月には、いよいよ特養の3階と4階のご利用者の方を対象に、別々に行っていた土曜日礼拝を、6月にはやっと合同で開催できるようになりました。

そこで改めてのお願いでもありますが、皆様の中で、このことにご理解とご協力いただける方は、以前(シャローム横浜通信4月15日号)にお願いした同じ文章で失礼かと思いますが再度掲載いたしますので、お読みくださりご都合のつく方はぜひご協力よろしくお願いたします。

『私どもシャロームでは毎週土曜日にご利用者を対象にした自由参加型の礼拝を、チャペルまたはデイホールで行なってきました。但し、これまではコロナウイルス感染予防等の観点からフロア毎に分け

第219回 チャプレン 上前 至

てやってきました。大体10名前後の方々の参加がありました。

それを、かつてのようにフロアを分けるのではなく、合同で開催していく計画です。まずは一度にすべてを戻すのではなく、特養の3階・4階のご利用者による合同礼拝からスタートいたします。

しかし、これを進めるにあたり、大きな課題があります。即ち、合同の場合、一度に20名近くのご利用者となり、送迎時のお手伝いが不足してしまうことです。少なくともあと3名程のボランティアが必要です。お手伝いいただける方、ご都合のつく方は、ぜひチャプレンまでご連絡ください！』

